

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】



新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.454・2月21日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

素敵な人

歌心あるバイオリン演奏で「人の心」を揺さぶる!



ドイツ国立ベルリン芸術大学への留学から帰国、次世代を担う期待のアーティストに贈られる「滋賀県次世代文化賞」を受賞したバイオリニスト・西川茉莉奈さんが、大津で初の凱旋リサイタルを開く。小学4年生で全日本学生音楽コンクール(毎日新聞社主催)に初出場し奨励賞を受賞。以来、数々の賞を受賞してきた。聴く人の心を揺さぶる「ダイナミックで情熱的な演奏」はどのように育まれてきたのか、そのドラマを追った。

にしかわ まりな

バイオリニスト 西川 茉莉奈さん(高島市出身 東京都在住・28歳)

つらかった子ども時代

次世代を担うバイオリニストとして大きく期待されている西川さんだが、子どものころはバイオリンの練習が嫌だったという。声楽出身でバイオリンに憧れを持っていた母の影響でバイオリンを始めたものの、練習漬けの毎日だったからだ。幼稚園にも行かずにひたすら練習。小学生になってからも、テレビを見る時間を制限され、練習した。友だちと充分遊ぶこともできず、つらくて泣いたという。

技術は身に付いたが…

東京芸術大学音楽学部付属音楽高校を経て、東京芸術大学音楽学部に入学したころから、ようやく「音楽は自分の天命かもしれない」と思うようになった。それでもまだ、完全に心は晴れなかった。テクニックは身に付けたものの、スケー

ジで自分をうまく表現できない。いつもどこか苦しい。「どうしてなんだろ?」と悩んだことさえあった。先輩や知人の音楽家に相談したが解決できなかった。

「頑張るな!」で開眼

突破口となったのは、ドイツ国立ベルリン芸術大学への留学。教授から「頑張るな!」と、繰り返し指導を受けた。楽器が体の一部に感じられるように、もっと自然体で演奏せよというのだ。このとき、東京芸大時代に恩師の玉井菜採准教授から言われたことを思い出した。「何のために弾いてるの?……音楽が好



ベルリン留学中の恩師と共演

たまい なつみ
玉井菜採准教授から言われたことを思い出した。

いことは、同じ意味であることがやっと理解できたのだ。

「大学時代は、厳しい競争の中でひたすら頑張るだけで、音楽を心から楽しむ余裕がなかったことに気がつきました」

それ以来、肩の力が抜けた。「ダイナミックで情熱的、歌心ある演奏」が花開き始めたという。

「もちろん、今でも本番前は怖いですし、もがき苦しむこともあります。でも留学先でのさまざまな経験が自信を持つ勇気を与えてくれました。自分

のことを好きだと思えるようになったんです」

2012年秋、同大学のディプロマ(学部)

課程を首席で卒業し、帰国した。

来月、びわ湖ホールでリサイタル

3月30日に「びわ湖・アート・フェスティバル2013」のトリを飾って、受賞記念のリサイタルを開く。曲目は

「華やかでしっとりとした歌心を歌い上げたドボルザークの作品」
「ピアノとの協奏が聴きどころのメンデルスゾーンバイオリン・ソナタ」
「技巧が生きた激しいラベルのツィガーヌ」など……。
初心者向けの曲から高度なテクニックを駆使した曲まで、ドイツ留学で花開いた西川さんの音楽世界を心ゆくまで楽しめることだろう。(取材・越智田)

詳しくは www.gaido.jp/suteki

びわ湖・アート・フェスティバル2013 **3/30(土)**
●会場:びわ湖ホール 全館 (大津市打出浜15-1)
●時間:10:00~19:00
●料金:入場無料(一部有料公演あり)

西川茉莉奈バイオリン・リサイタル
【出演】西川茉莉奈(バイオリン)、吉武優(ピアノ)
●会場:びわ湖ホール 小ホール
●時間:18:00~19:00
●料金:一般1,000円 25歳以下500円(全席自由)
●問い合わせ:しがぎん経済文化センター / 077-526-0005

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読申し込みはフリーダイヤル **0120-468-012**

滋賀県立近代美術館 企画展
ハービー・山口写真展
HIKARICAL SCAPE 雲の上はいつも青空
2月2日[土]~3月31日[日] 会場/滋賀県立近代美術館 企画展示室1・2
何気ない日常のなかにある人々や街の姿を、優しいトーンでモノクロームで残した写真作品の数々から、現在人々が求めている、希望とともに未来へ向かうポジティブなイメージ[HIKARI]に満ちた空間を作り上げる展覧会です。
観覧料/一般 950円[750円] 高大生 650円[500円] 小中生 450円[350円] ※[]内は前売および20名以上の団体料金
主催/滋賀県立近代美術館、京都新聞社、BBCびわ湖放送 協力/キャンマーケティングジャパン株式会社 後援/滋賀県教育委員会 監修/ハービー・山口 企画協力/ステップ・イースト
同時開催
常設展示室1/新収蔵品を中心に…2月2日[土]~3月31日[日]
常設展示室2/写真×絵画…2月2日[土]~3月31日[日]
TEL.077-543-2111
開館時間/9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日) ホームページ <http://www.shiga-kinbi.jp/>

AQUA×IGNIS
片岡温泉
2012年10月23日 三重県湯の山に『癒し』と『食』がテーマの複合温泉リゾート施設が誕生しました。
コンフィチュール アッシュ
辻口博啓(パティシエ)の、味のみならず視覚や香りなど総合的に考えられた、ケーキ、焼き菓子、ショコラ、コンフィチュールなどを楽しめます。
アックア×イグニス 三重県三重郡菟野町菟野4800-1 TEL059-394-7733(代)